

広報

ひらとり

2012年

9
No.618

舟上より望む沙流川 (チフサンケ 8/19)

今月号は...

- 地域おこし協力隊のチャレンジ
- 有害獣侵入防止柵の整備概要
- 平成24年度長寿者番付表
- まちの広場
- 教育委員会からのお知らせ
- すこやかだより
- 図書館へいこう・・・ほか

☆地域おこし協力隊のチャレンジ☆

～平取町のために何ができるかを問い合わせ、そしてこのまちで暮らしてゆく糧をみつけたい～

地域おこし協力隊は、人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域以外の人材を積極的に誘致し、その定住を定着を図ることで、「都会を離れて地方で生活したい」「地域のために役に立ちたい」「自然と共に生し、人とのつながりを大切にして生きていきたい」など意欲ある都市住民の「一員」に応えながら、地域の力の維持、強化を図っていくことを目的とする取り組みです。

町では平成23年度から3名の隊員を受け入れ、農作業や高齢者などの生活支援、観光イベントなどの手伝いなど、各種地域協力活動に携わりながら、将来、平取町での起業や就業することをめざしています。

すでに協力隊員として1年2ヶ月が経過し、多くの支援活動やイベントの手伝いに携わり地域と接点をもつたことや、隊員独自が発行する協力隊新聞などを発行し活動を知つてもらう取り組みも行なつていていることから、その知名度は徐々に高まりつつあります。改めて3名の隊員を紹介するとともに平取町の地域おこし協力隊事業についておらせいたします。



☆地域おこし協力隊

隈崎 直樹（くまざき なおき）（35歳）札幌市出身
妻・子（2歳）（まもなく第二子誕生）と平取町へ

①協力隊になった理由

家族全員で大自然の残る北海道、平取町を少しでも多くの人達に伝えたい気持ちが強く、私自身、家族も大自然のなかで自然と共に暮らして行きたいと強く願っていた。

②抱負・取り組みたいこと

地域おこし協力隊の活動は自分にとって、地域の方々の幸せづくりのお手伝い、家族の幸せづくり、田舎のこしのための仕事としてとらえています。さらに平取町の皆さんから生きる知恵、平取町の良さを学んでいきたいと思います。将来的には農業を基盤に6次産業化などの可能性を探り、農家レストランや農家キャンプ場などを経営したいと考えています。

③現在の取り組み

23年度から活動の拠点を豊穣に移し、実践的な農作業を中心とした生活を基本とし、豊穣地区の地域活動、全町的な生活支援活動などに従事しています。協力隊の任期が終了した時点で、農業を基盤として平取町に定住できるような環境づくりをめざし取り組んでいます。

☆地域おこし協力隊

上妻 永吉（あがつま えいきち）（35歳）札幌市出身
妻・子（2歳）と平取町へ

①協力隊になった理由

都会よりも田舎暮らしを自分も家族ものぞんでいた。協力隊活動をきっかけに、地域のなかでやりがいをもって暮らしたかった。

②抱負・取り組みたいこと

平取町にはたくさんの森林があり、歴史的にも林業を中心とした産業構造がありました。この林業の可能性を探りながら、生業づくりとして林業を基本に実践できればと考えています。林地残材を活用して、都会のユーザーに薪として提供し都市と田舎のネットワークを作るなど森林には多くの可能性が存在していると思っていて、仕組みをつくることで進む事業などがたくさんあると考えています。

③現在の取り組み

振内町に家族と居住し、地域のイベントなどの支援、高齢者などの生活支援活動をしながら、林業を生業として移住の可能性を探っています。民間企業での実践的な研修や各種研修会などに積極的に参加しています。





☆地域おこし協力隊

富安 寛樹（とみやす ひろき）(24歳) 神奈川県出身 大学を休学し平取町へ ※現在大学復学のため6ヶ月間（25年3月まで）活動を休止しています。

①協力隊になった理由

農村において自分で仕事を創って生きていきたいと考えていた。あらゆる機能の都市への一極集中に疑問を感じるようになり、まず、自分自身が農村で持続可能な生活を目指したいと思った。

②抱負・取り組みたいこと

地域の支援活動を通じ町民の方との信頼関係をつくり、地域の中の個人が抱える細かい問題、課題をみつけ、それを解決していくことなどを地道な活動として、協力隊が平取町に欠かせない存在となること。

③現在の取り組み

主たるテーマを平取町に賦存する自然エネルギーとして、木質バイオマス、中小水力エネルギーなどの普及の可能性、生業としてどう発展させられるなどを模索しています。もちろん地域支援活動をはじめ、義経なるこ会、バレー、アイスホッケーなどの団体にも積極的に加入し地域との関わり、ふれあいを大切にしたいと考えています。

言い換えば地域おこし協力隊員を、体裁のよい地域の期間労働者として利用しているところが少なくなく、隊員は役場からの指示待ちで、自ら考え、自ら行動するという機会が与えられていません。また、その地域への移住を希望している隊員が多いにもかかわらず、地域として隊員の移住を具体的に支援する体制ができていません。そのため、期間中は役場の臨時職員のような扱いを受け、多くの隊員は期間終了後の自らの身の振り方について不安を感じている方が多いということがわかったのです。

そして、そのノウハウを、今後に続く方々にも対応できる仕組みとして作りあげたいと思っています。

町では、地域おこし協力隊事業を始めるまでに各地の地域おこし協力隊について調査したり、実際に地域おこし協力隊事業を実施している団体や、各地の地域おこし協力隊員と交流してきました。その中で実態としてわかったことが、地域おこし協力隊は役場や、地域の活動のお手伝いがほとんどだということ。そして、もう1つは、多くの地域おこし協力隊員はお手伝いではなく、自分たちが主体となる活動を希望しているということです。

そこで平取町では、地域おこし協力隊として来ていただき協力員を、地域の御用聞きや、隊員のみなさんは、役場の指示で動くのではなく、皆さんの活動を支援する地域おこし協力隊コードイネーター（NPO法人ほかげ（振内町・代表 鈴木透氏））と一緒になつて、自らが移住・定住するための仕事などの生活基盤づくりを、自ら考えて活動していただきたいと考えています。



地域おこし協力隊事業も2年目となり、この事業の本旨ともいえる隊員それぞれが移住を前提とした自らの生業づくりのための取り組みを柱とする活動内容に移行しつつあります。全国でも23年度末までに3府県、138市町村が407人の協力隊員を受け入れています。3年が任期の本制度終了後も約7割の隊員が定住するといった結果もでていることから、平取町としても移住。



定住施策の主要事業として位置づけ、委嘱期間中はもちろん、任期終了後のサポート体制についても検討してゆく必要があります。



有害獣侵入防止柵の整備概要



8月31日の議会臨時会において、全町339kmの有害獣侵入防止柵の整備、事業費で8億8370万1千円の工事契約の締結が可決されました。

②事業量

道補助金の割当ての関係上、2ヵ年に分割して実施します。

平成24年度は河川敷地を除く農地等、平成25年度は河川敷地へ設置します。

Q. 事業の目的について教えてください。

A. 町内の農業被害は、平成22年度実績で水稻や牧草を中心約2億1千万円にものぼります。

また、その被害の約9割はエゾシカによつてもたらされていることから、効果的なエゾシカ侵入防止対策を実施することで被害の減少を図るものでです。

Q. 事業の概要について教えてください。

A. ①事業内容

町内全域の農地（一部山林を含む）に、金網柵（一部樹脂ネットフェンス）の設置工事を行います。

③事業費及び財源

平成24年度 339km
平成25年度 38km（予定）

平成24年度 8億8370万1千円
平成25年度（未定）

財源

道補助金55%
町負担金41%
JA平取町負担金4%
受益者負担金1%
(町負担金の80%は、特別交付税として国から町へ交付される予定です。)

④工期

町内を7工区に分けて、9月中旬から2月末までの間で実施します。



有害獣侵入防止柵（むかわ町）

Q. 町ではこれまで農業被害を減らすためにどのような対策をしていますか？

A. 有害獣防止電気柵整備に3分の1補助（1ヶ所につきエゾシカやヒグマの捕獲委託（委託先・北海道猟友会沙流川支部）と捕獲奨励金の支出、アライグマ等の箱ワナの捕獲機材の購入と貸出等が挙げられます。

平成24年度からは、日高町、新冠町、平取町で組織する日高西部鳥獣被害防止対策協議会によるエゾシカの策定（平成25年度まで）

Q. これまでの経過報告

平成20年 鳥獣害防止特措法に係る平取町鳥獣被害防止計画の策定（平成22年度まで）

平成23年 鳥獣害防止特措法に係る平取町鳥獣被害防止計画の策定（平成25年度まで）

平成24年1月 各地区事業説明会（4月まで）

3月 第1回施設整備組合代表者連絡会議

5月 侵入防止柵設置箇所の取りまとめ（1回目）

7月 日高西部鳥獣被害防止対策協議会の設立

8月 日高西部鳥獣被害防止計画の策定（平成26年度まで）

9月 各地区へ侵入防止柵設置箇所を設置

10月 鳥獣被害防止総合対策事業補助金割当内示

11月 各地区へ侵入防止柵設置箇所の最終確認

12月 第2回施設整備組合代表者連絡会議

平成25年2月・工事完了予定

9月・工事着手
議会臨時会で有害獣侵入防止柵整備工事の契約締結を可決

8月・入札
議会臨時会で有害獣侵入防止柵整備工事の契約締結を可決

8月・入札
議会臨時会で有害獣侵入防止柵整備工事の契約締結を可決

の一斉駆除も実施します。エゾシカの捕獲頭数は平成23年度実績で、約1千9百頭にのぼっており、被害額や個体数の増加に歯止めがかからない状況にあります。

Q. 町民の皆様に

工事期間中、町民の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

いつまでもお元気で長生きしてください

東

寿

西

関脇	関脇	大関	大関	横綱
加賀屋ミサヲ	池田正明	坂本ヒナ子	賀集キミエ	崎廣ミサヲ
97歳	97歳	98歳	98歳	99歳
芽生	川向	本町	紫雲古津	岩知志

大関	大関	大関	横綱
中島キクノ	藤澤ツク	湯村ナツ	油谷みき
97歳	98歳	98歳	99歳
本町	荷負	貫気別	本町

前頭					小結	
一					二	
水正壽々美	原田ヤイ	高橋イト	久保田ヒサ	伊藤福治郎	及川タツミ	石谷 清
95歳	95歳	95歳	95歳	95歳	96歳	96歳
振内町	荷菜	豊穣	振内町	幌毛志	振内町	豊穣

前頭					小結	
一					二	
沖野コト	山際イク	高川キヌ	山崎今朝代	宮北富貴	田畠 節	木村末四郎
95歳	95歳	95歳	95歳	95歳	96歳	96歳
旭	本町	貫気別	貫気別	本町	本町	芽生

前頭					二	
三					前頭	
宇南山ツヤ	市橋 實	岡田シズ	野口忠義	松永ミツエ	葛野ヨシ	佐々木長興
93歳	93歳	93歳	93歳	94歳	94歳	94歳
荷菜	荷菜	貫氣別	紫雲古津	旭	本町	小平

長寿者番付表

前頭					二	
三					前頭	
三好 一	池本 操	貝澤ハル子	坂東重男	水口きくゑ	中田こはる	山田ハル
93歳	93歳	93歳	93歳	93歳	94歳	94歳
振内町	本町	荷負	川向	旭	本町	菅原喜美子

※ 9月1日現在に平取町に住む85歳以上の方の人数

男性 77人 女性 187人 計 264人

平成24年9月1日現在 (敬称略)



本町 山際イクさん (95歳)

毎年9月第3月曜日は、敬老の日として、多年にわたり社会に貢献してきたご老人を敬愛し、長寿を祝う日です。

9月8日に開催された本町・小平自治会主催の「長寿を祝う会」で出席者最長寿の山際イクさんと一緒にタビューアーしました。

長寿の秘訣は? 「好き嫌いなく、健康でいること。そして、自分自身が感謝の気持ちを持って、毎日幸せを感じることです。」

周りにも幸せを与えてくれるような笑顔で、答えていただきました。

9月17日は「敬老の日」

まちの広場

(すずらんのまち びらとり)

『びらとりトマト』で地域団体商標登録 平取町農業協同組合 (8/10)

平取農協では、びらとりトマトのブランド力・認知度を高めようと『びらとりトマト』の地域団体商標登録へ向けて手続きを進めていましたが、この度、正式に商標登録されました。

この商標は全国で 511 件目、北海道では 19 件目の登録となります。

これまでニシパの恋人、びらとりトマトとバラバラで全国展開していたため認知度は低かったのですが、地道な販売活動とトマト大使の活動、販売額 41 億円突破にも後押しされ、全国的にも知名度があがり登録に結びつきました。

平取農協では、更に『びらとりトマト』のブランドの認知度を強化していきたいと話しています。



意見交換する稻葉さん（左）、岡田さん（右）

びらとりの活性化を提言 地域づくりインター報告会 (8/20)

都会の大学生が、まちづくりへの意見を出してもらう「若者の地方交流体験（地域づくりインター）事業」に、東京都出身の稻葉大樹さんと大阪府出身の岡田陽祐さんが参加し、約 2 週間平取の魅力と課題発見に取り組みました。

報告会では、「セールスポイントがたくさんある」「ヤル気もアイディアもある」等の魅力な点と、「若者が少ない」「PR不足」等の課題をあげ、今後の対応策として、Twitter（ツイッター）を利用する情報発信を提案しました。

1年間の努力が実を結ぶ 介護員養成研修講座閉・開校式 (8/29)

訪問介護員 2 級を目指す平取高校の講座では、今年 3 年生 5 名が無事に課程を修了しました。

主催である社会福祉協議会 小西正男会長より修了証が渡され、「地元の募集や、介護福祉士への道もあるので、挑戦してほしい」と、激励を受けました。

終了後、生徒全員で「ありがとうございました」とお礼の挨拶がされ、喜びに溢れた気持ちの良い式になりました。

同日、2 年生 2 人の講座が開講され、1 年間介護の基礎知識を習得していきます。



栄冠を勝ち取ったのは 平取町長杯平取義経特別競争 (9/4)

道営競馬「平取町長杯平取義経特別競走」が、門別競馬場で開催されました。

大勢の観客が見守る中、14頭のサラブレットが1,800mを力走し、わずかの差により「サイアーエフェクト」が1着、「アドマイヤトリック」が2着となりました。

高配当となった本レース、みごとの的中できた方は少なかったようです。



地域で紡ぐ、平和への誓い 戦没者追悼式 (9/5)

先の大戦で、尊い命を失われた206名に、ご遺族や来賓ら70名余りが参列して「平取町戦没者追悼式」が、平和塔前で執り行われました。

川上町長より式辞が述べられ、参列者は、戦没者の御靈に対し、白い菊の花と共に哀悼の誠を捧げ、恒久平和を祈念しました。

また、前日には本町5町内会が主催となって盆踊り、花火大会を行い、今年も平和塔には多くの方々が、追悼へ訪れました。

心臓が悲鳴をあげる前に 「救急の日」医学講演会 (9/7)

日高医師会主催による「救急の日」医学講演会が、ふれあいセンターびらとりで開催されました。

講師に札幌心臓血管クリニック理事長の藤田 勉氏を招き、心筋梗塞や動脈硬化などについて、実際の治療法を例にあげながら話し、来場者は真剣に聞いていました。

救急救命法実技講習を日高西部消防組合消防署職員が寸劇により分かりやすく、楽しく演じ、緊急時の対応を学ぶことができました。



青少年の読書指導に充てていた
きたいとご寄付いただきました。



図書購入事業へ
日高報知新聞社さま

文化活動に充てていただきたい
とご寄付いただきました。



文化推進事業へ
本町 佐々木 京子さま

❖ご寄付ありがとうございます

教育委員会からのお知らせ

2年連続の全国中体連出場（平取中学校）

夏休み中に行われた全道中体連大会の結果、平取中学校では、昨年の柔道に続いて、陸上男子四種競技の平村太幹さん（3年生）とバドミントン男子シングルスの二谷優吾さん（3年生）が全国進出を果たし、8月20日から千葉県内で行われた大会に出場しました。

平村さんは、110mハードル・砲丸投げ・走り高跳び・400mの総合点が2,587点で10位に、二谷さんは、2回戦で福島県代表選手と対戦して1-2での惜敗。



シャトルを追う二谷優吾さん

北海道代表の名にふさわしい素晴らしい素晴らしい試合を見せてくださいました。

「本格的に陸上競技に取り組んで1年間、この場に立てた全ての経験が楽しかった」「高校進学してもバドミントンを続け、全国のトップクラスの仲間との会話に加わるよう頑張りたい」と語る二人にとって、同じ道を志す全国の仲間たちとこれからも一緒にやっていこうという思いと、更なる高い目標を手にした収穫ある大会となりました。



力走する平村太幹さん（中央）

中学校で武道（柔道）の授業始まる

中学校での新学習指導要領の全面実施に伴い、保健体育科の第1・2学年では、すべての運動領域をすべての生徒に学ばせる取り組みとなり、2学期から武道（柔道：学年10時間の必修）の授業が始まりました。

武道は「礼に始まり礼に終わる」といわれるよう、「礼」を重んじることは、自己を制御し相手を尊重する態度を形に表すことであり、人間形成の重要な要素であると考えられています。

授業では、基本動作や基本となる技ができるようにすることなどもねらいとしていますが、生徒の安全を保持する課題に対応するため、複数の指導者のもとで授業を進めることとしており、今後も、安全で楽しい授業の実施に向け、指導体制や指導方法等の一層の充実を図ります。



平取中学校の柔道授業

いじめの未然防止、早期発見・早期解消を！！

いじめが背景事情として認められる中学生の自殺事件に、大きな関心が寄せられています。

各学校では、教職員の共通理解に基づく協働体制により、温かな人間関係の醸成を図り、家庭、地域、関係機関との連携・情報交流の拡充・充実を進め、共感的な理解に基づく児童生徒理解と教育相談の充実に努めています。

また、児童生徒へのいじめアンケートも定期的に実施しているところです。いじめの兆候に気づかれた場合は、すぐに学校に連絡・相談をしてください。

なお、教育委員会にも「さわやか相談室」（☎ 2-2619）を設置しています。他にも以下のような相談機関がありますので、ご相談ください。



日高教育局教育相談電話☎ 01462-2-1325

北海道立教育研究所教育相談電話☎ 0120-3882-56(毎日24時間)、☎ 0120-3882-86

児童家庭支援センター【エンゼルキッズ子ども家庭支援センター】☎ 011-372-8341

北海道警察本部【少年相談110番】☎ 0120-677-110

緑豊かなキャンプ場で体験学習

～わくわく自然体験スクール～（故 森武雄氏寄付事業）



夕飯の用意

町内の小学5年生を対象とした自然体験学習を8月6日から8日の日程で7名が参加しました。

安平町ときわキャンプ場で、自分たちでテントを設営することから始まり、野外炊飯では、炭おこしで服が真っ黒になり、野菜の皮むきでは苦戦をしながらおいしいカレーライスができあがりました。また、花火、スイカ割りなど夏ならではの活動も楽しみ、木材を利用した工作をするなど、自然体験を満喫しました。

3日間とも天候に恵まれ、参加した児童は交流を深めながら、夏休みの良い思い出づくりができたようです。



テント前で記念撮影

短歌講座

～成人文化講座～

7月25日、すずらん短歌会講師を務めていただいている椎名義光氏を招き、中央公民館にて短歌講座を開催しました。

7名の出席者は全員がすずらん短歌会会員であり、短歌を作成するにあたってメモを書いておくことの重要性や、日々の生活の中で感じる喜怒哀楽を歌にして詠んでいくことの面白さについて、改めて実感していました。



短歌講座の様子

～文化サークル紹介～

◆平取仔馬の会

仔馬の会は、毎週火曜日に児玉美和子氏に指導を受けながら活動している絵画サークルです。

毎週、熱心に通っている会員のみなさんは、いつも笑顔で楽しそうに描いています。

えんぴつ、水彩、油絵、パステル、アクリルなど、一緒に描きませんか。

活動日 毎週火曜日 (13:00～15:30)

活動場所 中央公民館集会室

創立年 平成7年

代表者 三浦静子

会員数 9名



《会員募集中》 連絡先 三浦静子 (☎ 2-3922)

教育委員会からのお知らせ

全員がオロフレ山登頂！！

～小中学生登山～

毎年恒例の小中学生登山が7月26日に実施され、今年は登別市にあるオロフレ山(1,230.8m)に挑戦しました。小学校4年生から中学校2年生までの20名と、ボランティアはじめ引率者8名の合わせて28名は、気温30度近い中、幾つかの難所も互いに励ましあいながら乗り越え、登山開始から約1時間40分後に無事山頂に到着しました。



オロフレ山は、洞爺湖温泉と登別温泉のほぼ中間に位置し、眼下には洞爺湖、そして蝦夷富士と言われるの羊蹄山が眺望でき、また、多くの高山植物が生息しており、一行を楽しませてくれました。

振内中学校から参加した戸城大樹さんは、「全員、登りきることができ満足感でいっぱいです。来年もまたぜひ参加したい」と話し、魅力あふれる山を後にしました。

スポーツサークル紹介

貫気別パークゴルフ部

- 設立 平成8年
- 監督 松原幹夫
- 活動日 不定期
- 活動場所 二風谷ファミリーランド
パークゴルフ場など
- 対象者 貫気別に在住の方
- 入部条件等 年齢・性別等の制限は特にありません。
- 部員数 31名
- 部費 年1,000円
- 連絡先 松原幹夫 ☎ 5-5009

貫気別パークゴルフ部は、年2回の部内大会と貫気別地区スポーツまつりパークゴルフ大会などに参加しています。

部員全員が集まっての活動は少ないですが、都合の良い日に練習をしたり、数名の部員は町外の大会にも積極的に参加し、上位の成績を残しています。

初心者から上級者まで、賑やかにコースを回り楽しんでいますので、少しでも興味のある方はぜひ入部してください。



貫気別スポーツまつり 2012 パークゴルフ大会

チプサンケにみるアイヌ文化の今日的継承

8月19日（日）、第43回チプサンケ（本祭）が二風谷で行われました。昭和40年代以降、沙流川を彩る夏の風物詩として、地域に受け継がれる恒例行事です。

近代以前は主要な交通手段、漁労道具などとして生活の中にあったチプも、幹線道路の整備や生業の変化とともに徐々にその数を減らしていきました。現在では、沙流川の日常でチプの行き来を目にすることはありませんが、アイヌ文化の今日的継承を考える上で、古いものづくりの技や知恵は重要なキーワードになります。

チプ自体は、素性のよい丸太が1本あれば作ることができます。これにトウリ（さお）、アッサブ（かい）、ワッカケブ（あか汲み）などを組み合わせることで、進水できる状態になります。特にこのチプを制作、利用する上では、比較的河川の近くで採取できるヤナギなどが重宝されました。川ベリ（舟着き場）で制作することによって舟体が水になじみ、バランスもとりやすかったといわれており、大きな樹木や重い丸太などを遠くまで運ぶ必要がないことも、作業効率の向上につながったことと思います。

今日行われているチプづくりは、樹木の搬出、加工など、多くの面で現代的な手法が取り入れられています。その一方で、よい樹木を重宝し、その特性を知ることやカムイノミ（神へのお祈り）を通した畏敬の念などの先人たちの知恵や精神は、さまざまに取り組んでいるアイヌ文化の継承活動に応用していくことができます。

チプサンケはアイヌ文化の今日的な継承としての意味合いと同時に、地域振興のお祭りとして賑わいをみせており、チプの試乗体験の場でも知られ、全国から集う方々と交流を図っています。

さらに近年ではチプサンケに合わせて、チセを会場としたウトムヌカラ（結婚式）、語り部によるユカラ（英雄叙事詩）やウバシクマ（言い伝え）などの披露、アイヌ文様の彫刻体験（コースター作り）なども継続的に行われるようになりました。

なかでも、ウトムヌカラのためにやって来た若夫婦と、儀式を執り行う関係者の姿は、前夜祭にふさわしい感動に包まれたものであります。今後も継続的に挙式を行っていくことができれば、本祭との相乗効果も益々期待されます。

町民主体で行われる2日間の催しは、地域の想いや熱意、北海道の暮らしの多様性を発信する大事な機会にもなっています。教育委員会としても、アイヌ文化の継承活動の一環として、今後も協働していきます。



チセで行われたウトムヌカラ



チプサンケの様子

チプサンケについて

チプの進水式を意味するアイヌ語で、直訳するとチプ（舟）、サンケ（出す）となります。チプづくりの継承、新造舟への礼拝、乗舟の貴重な体験機会として、数十年にわたり二風谷を中心を開催されています。

主な材料としてはヤナギ、カツラ、ヤチダモなどが用いられます。チプは通常、丸木舟を指しますが、地域によっては海用のイタオマチプ（板とじ舟）、湖沼用のヤラチプ（樹皮舟）といった種類もあります。

目指せ!!はつらつ健康

すこやかだより

—保健福祉課—

みんなで楽しく健康づくりを目標に、平成17年からスタートした「はつらつウォーキング」の集い／みんなで歩こうDAYも、隔月開催から、昨年より毎月第一月曜日を基本として年12回開催するようになりました。



みんなで楽しく健康づくりを目標に、平成17年からスタートした「はつらつウォーキング」の集い／みんなで歩こうDAYも、隔月開催から、昨年より毎月第一月曜日を基本として年12回開催するようになりました。

『はつらつウォーキングの集い』

—みんなで歩こうDAY—



また、送迎バスを利用し、森林浴満喫の『仁世宇エコランドの散策』、秋には紅葉と温泉・味覚を楽しみながらの『二風谷ファミリーランド周辺散策』なども行っています。

普段は一人で歩いていると、普段は一人で歩いていると、

いう方も、この会を利用して、みんなで賑やかに、歩くことを楽しんでいるようです。



みんなで歩こうDAY in二風谷2012



はつらつウォーキングの集い

【開催日時・集合場所】

10月21日（日）10時～12時

二風谷ファミリーランド駐車場

【持ち物】

動きやすい服装・履物、タオル、飲み物、

ノルディックポール（お持ちの方（ポールを持つので荷物を背負えるリュックサックなどが便利です）

※食事は別料金で楽しめます。
なお、温泉は、無料で入浴できます。

【申込先】

保健推進係 ☎ 4-6112

☆我が家の

“旬メニュー”募集中

★今月の旬食材

『かぼちゃ』『じゃがいも』

★応募詳細

①料理名

②材料と分量

③作り方

④名前・連絡先

ご記入のうえ、ご応募ください。
(簡単なメモ程度でOK)

★応募先

保健推進係
FAX ☎ 4-6112
4-6870

図書館へいこう

平取町立図書館

ふれあいセンターひらとり・3階

○開館時間 火～金曜日 10:00～18:00 土・日曜日 10:00～17:00

○休館日 月曜日・祝日 ※月曜日が祝日の場合は、その翌日も休館。

TEL 4-6666

FAX 4-6871

✉ risu2@guitar.ocn.ne.jp



新着図書のお知らせ

【小説・エッセイ】

『ケルベロスの肖像』／海堂尊

『レオン氏郷』／安倍龍太郎

『その暁のゆるさ』／鹿島田真希

『はかほんさん』／さだまさし

『LOVE & SYSTEMS』

／中島たい子

『ソロモンの偽証 第1部』

／宮部みゆき

『さくら聖・咲く』／畠中恵

『サラダ好きのライオン』／村上春樹

『あのころのデパート』／長野まゆみ

『エアヘッド!』／メグ・キャボット



【家庭・生活・趣味】

『健康ながらだをつくる豆乳の魔法レシピ』

／浜内千波

『塩麹のおかず甘麹のおやつ』

／坂田阿希子

『手づくりのエプロン』／ブティック社

『子育てハッピーアドバイス

ようこそ初孫の巻』／明橋大二



【社会・経済・その他】

『よくわかる介護保険のしくみ』

／牛越博文

『発達障害と情緒障害の子どもの能力

を家族全員で伸ばす!』／宮尾益知

『こんちき号北極探検記』／あべ弘士



10月の休館日

1・8・9・15・22・29日



11月の休館日

3・5・12・19・23・26日

～としょかんトピックス～

8月22日・23日・29日の3日間、平取養護学校の生徒が、「はたらく」体験をとおして社会の一員としての役割を学ぶ「地域体験作業」のために、図書館の仕事を体験しました。

高等部1年生の3名の生徒には、先生や職員の指導のもと、図書館の用意したエプロンを身につけてもらい、それぞれ館内の本棚の掃除と、寄贈



本の汚れの拭き取り作業に分担して取り組んでもらいました。ときおり職員とコミュニケーションもとりながら、担当する仕事をこ



つこつと進めいく積極的な姿勢は、指導にあたった先生にも印象的に映ったようです。

図書ワゴン（移動図書館車）運行日程【10月】

4日（木）【貫気別地区】

10:45～11:15 荷負 遠藤和江さん宅前

11:30～12:00 貫気別生活館

13:15～13:45 芽生生活改善センター

14:00～14:30 旭生活館

5日（金）【振内地区】

11:00～12:00 山の駅ほろしり館

13:15～13:45 岩知志ふれあい館

14:15～14:45 豊穣生活改善センター

□利用者カードなしでも、ご利用できます。
□貸出期間は、次の巡回日までになります。
□本の返却、不用になった本のご寄贈も受け付けます。

みんなの写真館



義経神社例大祭のこの日、平取養護学校の畑ではミニトマトが順調に成長していました。

本町 藤田 阜さん撮影



義経神社例大祭 (8/15)

皆さんの写真をお待ちしています。
※住所・氏名と、簡単なコメントを添えて持参、またはメールでご応募ください。
総務課 広報広聴係 ④ 2-2221
✉ kohokocho2008@town.biratori.hokkaido.jp

投稿作品

すずらん短歌会詠草

オリンピック目頭あつく午前4時 つかれはて眺める先にくもの糸 寝返りうちてまた明日を待たん	ハイウエーを母の見舞いにひた走る いつまで乗れるや不安がよぎれど 好きな書道の筆を走らす	太陽に当たると動く「花人形」 友の土産に思わず笑う	生き夫が残せし我が家とこしえに 子に「守つてよ」と伝えて安らぐ
勝ち抜く姿勢空を見つめて	中原 千鶴子	相田 のぶ子	中沢 三二子
藤田 阜	石川原多満代	高橋 洋子	市橋 恵美子

町の人口

人口	5,572	(▲ 2)
男	2,687	(▲ 7)
女	2,885	(- 5)
世帯数	2,603	(- 3)
外国人住民数	130	

()内は前月比 8月末現在